

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 25 年 1 月 18 日 発行

第 31 号

発行人 校長 鈴木史良

“感謝のステージ”のスタート

—— 学年の総まとめ、3年生は中学校生活の総まとめ ——

1月7日（月）にスタートした“感謝のステージ”は生徒会主催による百人一首大会で幕を開けました。そして11日（金）には県学力調査テスト（1・2年生）、実力テスト（3年生）と続き、冬休み中に培った学習の成果を発揮する場がありました。更に13日（日）には成人者祝賀駅伝大会が催され、深良中男女駅伝チームが日ごろの努力の成果を発揮し、好成績を収めました。健康面では市内の小中学校でインフルエンザが流行しつつあります。中には学級閉鎖が行われた小学校もありますので、本校でも細心の注意を払わなければいけません。うがい・手洗いはもちろん、咳エチケットの徹底を図っていきます。

<百人一首大会について>

1月7日に体育館で全校百人一首大会が行われました。事前に学級内で予選会をおこない、得意な生徒は得意な生徒同士のグループで、得意でない生徒は得意でない生徒同士のグループで札を取り合いました。読み手は国語科の宮野先生、加藤力也先生です。得意グループでは、上の句を詠み始めるとすぐに札の取り合いが始まるという状態で驚きました。百人一首を楽しんだ後は“坊主めぐり”を行いました。札をめくっては姫が出たり坊主が出たりで喜んだり、悲しんだり……。無邪気に楽しめたひと時でした。結果は以下の通り兩種目ともに3年生が制しました。さすがです！

- ・百人一首の部優勝 ⇒ 3年A組
- ・坊主めぐりの部優勝 ⇒ 3年B組



正月らしい雅やかな百人一首大会



学年の壁を越えて真剣勝負

<成人者祝賀駅伝大会について>

1月13日（日）に裾野市の成人式が行われました。この成人式を祝して毎年駅伝大会が開催されています。今年は全部で107チームが参加しました。本校では男女とも選抜チームが編成され、クロスカントリー大会終了後も毎朝の練習を欠かさず、この大会を目指して頑張ってきました。結果は中学生の部で男子チームが5位、女子チームが3位とすばらしい成績を収



祝賀駅伝スタートの瞬間！

めました。5位の男子は4位チームとわずかの差でした。女子チームも2位チームを追い込んだのですがわずかに届かず3位となり、銅メダルを獲得しました。選手の皆さんは深良中学校の『一所懸命がカッコいい』という姿を存分に発揮してくれました。応援の保護者の皆様感謝いたします。

成人者祝賀駅伝大会中学生の部・男子5位
・女子3位



走り終えた充足感に包まれた選手団

<体育の授業(柔道)に指導者>

1月に入り、体育では柔道の授業を実施しています。新学習指導要領の実施にともない、本校では格技として柔道を導入しました。15日(火)には指導者として柔道の専門家、山之内良彦先生など3名の指導者を迎えて、1、2年生の柔道の指導をしていただきました。基本である礼儀作法、後ろ受け身、横受け身の指導を徹底し、パン、パンと畳を打つ音が響きました。生徒たちは手を真っ赤にしながらも心地よさそうに練習に励みました。



専門家による柔道の指導

☆ 教育実習生の自己紹介 ☆

日本体育大学体育学科の福士優太朗です。この深良中学校は7年前に卒業しました。わたしが入学した時は総合部という部活があり、そこで陸上の中長距離をやらせていただきました。1年生の時は3年生の先輩が一人いたので一緒に練習していましたが、先輩が卒業した2年生からは一人でグラウンドを走っていました。3年生では、支えてくださった方々のおかげで全国大会1500m 1位、3000m 3位という結果を出すことができました。また私は2年生の立志式で「文武両道」という言葉を掲げました。学生はやはり勉強が本分と言われていたので、陸上だけでなく勉強も負けたくありませんでした。塾に行く時間もなかったので、そこは学校の授業を真剣に受けることでカバーしました。成績もクラスで5番以内に入っていたと思います。この教育実習で生徒とお互いに刺激し合えればうれしいです。



職員室での福士先生

1月15日から2月1日まで3週間にわたり、福士先生が教育実習生として生徒の皆さんとともに過ごし、教師の資格をとる勉強をします。中学生時代の志を今もなおもち続け、自分の夢に向かって努力を続けている福士先生の姿は、よき先輩の姿として生徒の皆さんの手本になるでしょう。立志式で「文武両道」と掲げた福士先生、その言葉を忘れずに今後さらに広い世界に羽ばたいていってほしいと思います。